

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

創立 50 周年

Daphnis et Chloé SYLVAIN CAMBRELING 10.18 & 10.20

パリを熱狂させたラヴェルの《奇跡の美》
文豪ゲーテが賞賛し、三島由紀夫が影響を受けたエロティシズムを
ラヴェルが眩いほどの華麗な音楽に表わした。

指揮 シルヴァン・カンブルラン (読響 常任指揮者)
Conductor SYLVAIN CAMBRELING

合唱 新国立劇場合唱団
Chorus NEW NATIONAL THEATRE CHORUS

コンサートマスター デヴィッド・ノーラン
Concertmaster DAVID NOLAN

ラヴェル／バレエ音楽「マ・メール・ロワ」(全曲)／バレエ音楽「ダフニスとクロエ」(全曲)
RAVEL / Ma mère l'oye / Daphnis et Chloé

読売日本交響楽団 第553回 サントリーホール名曲シリーズ

2012年 10月18日(木) 19時開演 サントリーホール S ¥7,000 A ¥6,000 B ¥5,000 C ¥3,500
The 553rd SUNTORY HALL POPULAR SERIES / Thursday, 18th October 7:00p.m. / Suntory Hall

読売日本交響楽団 第198回 東京芸術劇場 名曲シリーズ

2012年 10月20日(土) 18時開演 東京芸術劇場コンサートホール S ¥7,000 A ¥5,000 B ¥4,000 C ¥3,000
The 198th TOKYO METROPOLITAN THEATRE POPULAR SERIES / Saturday, 20th October 6:00p.m. / Tokyo Metropolitan Theatre

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
事業提携：東京芸術劇場(10/20) 助成：文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業) 衣装協力：NOVIA・NOVIO 後援：在日フランス大使館

お申し込み・お問い合わせ 読響チケットセンター 03-3562-1550 (平日10:00-18:00) <http://yomikyo.or.jp/>

カンブルランが 現代に甦らせる 100年前のパリの活気

小沼純一(音楽・文芸批評 / 早稲田大学教授)

ベルギー王立やフランクフルトの歌劇場で指揮をしていたシルヴァン・カンブルランが、ラヴェルのバレエのための作品二つを「全曲」演奏する。《マ・メール・ロフ》と《ダフニスとクロエ》。この二つがあわせて演奏される演奏会がかつてあったらどうか？ これは指揮者／オーケストラにとってなかなかリスクだ。《ダフニス》全曲をやるにも意欲がなくて事務局はおもうにちがいない。でも、ここに実現するということは、勝負の感がつよい。しかも「名曲シリーズ」で、なのだから。

舞台のために作曲された音楽は、コンサート・ピースとしての鑑賞される作品とはすこし違ったところがある。ストーリーのながれがあったり、楽器の音が演出上の合図や効果となっていたり、ときには具体的な音響を想起させるものであったり。音楽だけとりだしては冗長になってしまうこともあるから、演奏会用組曲に改変されたりもする。その意味では、「全曲」を演奏するのはスコアから読みとったものを音楽としてひびかせるのみではない手腕が必要になる。

《マ・メール・ロフ》と《ダフニスとクロエ》、初演がおなじ1912年である。今年ちょうど初演から100年。ディアギレフ率いるバレエ・リュスがパリで活躍している真っ最中。おなじ時期、ストラヴィンスキーは1911年に《ペトルーシユカ》を、1913年に《春の祭典》を発表、そのあいだの期間に、ラヴェルは半年をおかず、二作をパリの人びとにむけて提出する。《マ・メール・ロフ》はテアトル・デザール(芸術劇場)、《ダフニスとクロエ》はバレエ・リュスと主催は異なっているが、1月と6月にパリであることは変わらない。

カンブルランが、2012年をドビュッシーやディーリアスの生誕150年ではなく、ましてやマスネの没後100年やケージの生誕100年でもなく、ラヴェルの二作をクローズアップしたところに、わたしは快哉を叫んでしまう。100年前のパリの活気。舞台のうえでくりひろげられる舞踊手と美術家と音楽家のコラボレーション。つくりだされるのは、フランス版マザー・グースたるお伽噺と、古代ギリシャの波瀾万丈の恋愛物語。前者はエピソードをつらねた組曲形式であり、後者は(作曲家いうところの)舞踏交響曲というようなフォルムを備えた作品という対比もある。

100年前に「初演」され、舞台化されたことを、そして舞台そのものを、カンブルランというみごとな指揮者によって、聴き手一人一人のイマジネーションのなかで、生きなおすことができるのではないかとおもっている。そう、わたしは、この魔法をこそ待ちかねている。

©読売日本交響楽団 撮影:青柳聡



指揮 シルヴァン・カンブルラン Sylvain Cambreling

1948年フランス・アミアン生まれ。2010年4月から読響常任指揮者を務め、色彩豊かな音楽作りで日本の観客を魅了。読響との充実した活動は既に高い評価を得ている。現在、クラウングフォーラム・ウィーン的首席客演指揮者も務めるほか、2012-13シーズンよりシュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督に就任する。ベルギー王立モネ劇場、フランクフルト歌劇場の音楽総監督を歴任し、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ミュンヘン・フィルなどの世界の一流オーケストラを指揮している。

合唱 新国立劇場合唱団 New National Theatre Chorus

新国立劇場で行われる数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を展開している。メンバーは100人を超え、オペラ公演などで高い評価を得ている。読響とは度々共演し、昨年のカンブルラン指揮のベルリオーズ「ロミオとジュリエット」でも絶賛を博した。

2012 10月18日(木) 19時開演 <第553回 サントリーホール名曲シリーズ>

10月18日(木) 19時開演

サントリーホール

料金 S ¥7,000 A ¥6,000 B ¥5,000 C ¥3,500

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001 (オフィス)

東京メトロ南北線 六本木一丁目駅(3番出口) 徒歩約5分

2012 10月20日(土) 18時開演 <第198回 東京芸術劇場名曲シリーズ>

10月20日(土) 18時開演

東京芸術劇場コンサートホール

料金 S ¥7,000 A ¥5,000 B ¥4,000 C ¥3,000

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

池袋駅西口徒歩2分 *一時託児施設あり

読響チケットセンター ☎ 03-3562-1550 (平日 10:00-18:00)

http://yomikyo.or.jp/

前売所: イープラス <http://eplus.jp/> チケットぴあ 0570-02-9999 ローソンチケット 0570-000-407 サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 [10月18日(木)公演のみ] 他

●学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥1,500で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

●団体割引: 読響チケットセンターにて同一公演の1回券を10枚以上まとめてお求めになった方に団体割引をいたします。

●都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。 ●未就学児のご入場は、固くお断りいたします。



響け、この想い。

私たちは、東日本大震災・被災地の一日も早い復興を心から祈っております。